

K-Report

2019年 3月 1日発行
第 9巻 第 3号

《発行者》 協同組合 愛知労務協会
富田謙社会保険労務士事務所 所長 富田 謙
■住所
〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須四丁目11番39号 川本ビル4階
TEL 052-261-2611 URL <http://www.tomiken.org>
FAX 052-261-2612



目次

1. 改正情報
2. 労務管理の基礎知識
3. 所長コラム

1. 改正情報

■ 料率が変わる各制度

毎年度の変わり目は様々な制度の料率が見直される時期となりますが、既に変更することが発表されている制度がありますのでお知らせします。変更時期は各制度で異なりますのでご注意ください。

【1】子ども・子育て拠出金率

厚生年金保険が適用されている事業主は政令で定められた拠出金率に基づき計算された子ども・子育て拠出金を納めています。この拠出金は児童手当などの子育て支援の財源などになっており、従業員の負担は無く、全額を事業主が負担します。

今回の改正で、**平成31年度**から以下のように変更されます。

《子ども・子育て拠出金率》

改正前 ⇒ 0. 29%

改正後 ⇒ 0. 34%

【2】協会けんぽの保険料率

協会けんぽは、1月31日に第96回全国健康保険協会運営委員会を開催し、その中で平成31年度の都道府県別健康保険料率案が示されていましたが、2月13日に各都道府県の健康保険料率が正式に発表されました。

保険料率の変更は**3月分（4月納付分）**からとなります。

《愛知県健康保険料率》

改正前 ⇒ 9. 90%

改正後 ⇒ 9. 90%（変更なし）

なお、40歳から64歳までの介護保険第2号被保険者に掛かる介護保険料率（全国一律）は以下のように変更されています。

保険料率の変更は健康保険料率と同様に、**3月分（4月納付分）**からです。

《介護保険料率》

改正前 ⇒ 1. 57%

改正後 ⇒ 1. 73%

2. 労務管理の基礎知識

■ 短時間労働者（パートタイム労働者）

⑤ 賃金等の決定方法^(※1)

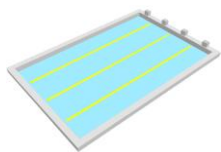
- 通常の労働者と同視すべき短時間労働者の賃金については、通常の労働者との差別的な取扱いが禁止されています。
 - ⇒ 同じ賃金表を適用することや、賃金の支払基準や査定・考課基準を統一するなどの対応が求められています。
- 上記以外の短時間労働者の賃金のうち、職務に関連する賃金（基本給・賞与・役付手当等）については、通常の労働者との均衡を考慮して、職務内容・成果・意欲・能力・経験等を勘案して決定するよう努めることとされています。
 - ⇒ 事業主の主観や一律の時給というような決め方ではなく、業務の内容と責任に応じた賃金決定をすることや、昇給・昇格制度、人事考課制度の整備等、各事業所の実情にあった対応が求められます。
 - ⇒ 通勤手当のうち『職務の内容に密接に関連して支払われる』ものについて、均衡確保の努力義務の対象となります。
- 短時間労働者の退職手当等の職務に密接には関連しない賃金についても、就業の実態や通常の労働者との均衡等を勘案して定めるよう努めることが求められています。

(※1)

2018年6月29日、働き方改革関連法が成立し、大企業は2020年4月、中小企業は2021年4月からは、基本給はもちろん、賞与や福利厚生から休暇や研修に至るまで、正社員や非正規などの雇用形態に関係なく、業務内容に応じて対価を決める制度が開始されます。

3. 所長コラム

■ 池江璃花子選手にエールを



白血病は今や不治の病などではありません。化学療法や支持療法、骨髄移植などの進歩は劇的で目覚ましく、多くの患者さんが病いを克服し、社会復帰をされています。白血病を克服したスポーツ選手も数多い。池江選手も「必ず戻ってきます」と気丈に記している。池江選手の日も早い回復を祈りたいと思います。

世界選手権覇者の瀬戸大也は、「治してオリンピックっていう声もたくさんあると思いますが、命の方が大切です。早く元気になって、またあの可愛い笑顔を見られるようにと自分たちは祈るだけです」。白血病と診断されたことを公表した競泳の池江璃花子選手に寄せたコメントだ。

一方、こちらは桜田義孝五輪相のコメント。「金メダル候補で、日本が本当に期待している選手なのでがっかりしている。早く治療に専念して頑張ってもらいたい。また元気な姿を見たい。1人リードする選手がいると、みんなつられて全体が盛り上がるので、その盛り上がりが若干、下火にならないか心配している」。このコメントに批判殺到。

桜田義孝五輪相曰く、「びっくりした。病気のことで、早く治療に専念していただいて、一日も早く元気な姿になって戻ってほしいというのが私の率直な気持ちだ」とのこと。どう聞いても身体を気遣うコメントとは取れない。

突然の病に襲われ、最もショックを受けたのは彼女自身に違いない。それでも病名を公表し、全力で立ち向かうと宣言した池江選手に対し、五輪やメダルへの落胆を言葉にする感覚が許せない。

こんな人を大臣にしておいて大丈夫か、日本。